



平成19年度のごみ排出量が出ました！

ごみ減量化の報告

市民の皆さんの協力を得てごみの減量化を進めてきましたが、平成18年度と比べてどうなったのでしょうか？

☆ごみが少し減りました！

平成19年度は事業系のごみを含んだ牛久市全体のごみ排出量が2万9427トンで、平成18年度の排出量3万14トンと比べ587トン減少しました。家庭ごみについては、下表のとおり全体の排出量で前年に比べ約1・6％の減少、市民1人当たりの排出量では前年に比べ2・8％の減少にとどまり、このままでは平成22年度減量目標である「20％削減」の達成は困難な状況となります。

今や地球温暖化防止のため二酸化炭素排出量削減が求められる状況の中、その要因の一つである私たちのライフスタイルから生み出されたごみ排出量もさらに削減する必要があります。

市ではごみ減量に必要な情報を提供していきますので、市民の皆様

◆家庭ごみ全体排出量(前年度比較)

(単位：トン)

年 度	可 燃 ご み	不 燃 ご み	プ ラ ス ク ラ ッ チ	粗 ご み	大 み ご み 計	資 源 物	合 計
H19年度	17,298	859	21	707	18,885	4,607	23,492
H18年度	17,484	991	19	694	19,188	5,055	24,243
比 較	△186	△132	2	13	△303	△448	△751
増減率	△1.06%	△13.31%	10.52%	1.87%	△1.57%	△8.86%	△3.09%

◆家庭ごみ1人1日当たりの排出量(前年度比較)

年 度	家庭ごみ (g / 人・日)	家庭資源物 (g / 人・日)	家庭排出計 (g / 人・日)
H19年度	662.60	161.60	824.20
H18年度	681.70	179.60	861.30
比 較	△19.10	△18.00	△37.10
増減率	△2.80%	△10.02%	△4.30%

さんのご協力をお願いします。

☆資源物の抜き取り防止のご協力を！

平成19年度はごみの排出量が減

※増減率は、小数点3位以下を切り捨て。

少し減りましたが、上表のとおり資源物も減少しています。これは、資源物を抜き取る者がいることが要因と考えられます。現在は、古紙や金属くずの取引価格が高騰していますので、資源物を抜き取る者が後を絶ちません。市ではパトロールを行うなどの対策を講じているものの、すべての地区について目を光らすことが困難な状況です。資源物は市民および市の大切な資産なので、市民の皆さんも散歩やお出掛けの際、不審な車や人を見掛けた場合は、市廃棄物対策課まで連絡をお願いします。

また、新聞紙などを束ねて出される場合には、一番上の紙または側面に集積所番号などを明記していただく事で、抜き取りの抑制になりますのでご協力をお願いします。

ごみの減量化・資源物抜き取り防止は、市民の皆さんのご理解・ご協力なくしては成し得る事ができませんので、今後ともご協力をお願いします。

今回は、どんなごみが排出されているのか「可燃ごみの組成分析」についてご紹介します。

問い合わせ 市廃棄物対策課 ☎873-2111内線1571、牛久クリーンセンター ☎830-9333